大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

| | | | |
|---|---|---|---|
| 大阪支社 | 〒550 | 大阪市西区千代崎3-2-95 | TEL (06) 586-3200 |
| 南部支社 | 〒590 | 堺市住吉橋町2-2-19 | TEL (0722) 38-1131 |
| 北部支社 | 〒569 | 高槻市藤の里町39-6 | TEL (0726) 71-0361 |
| 東部支社 | 〒578 | 東大阪市稲葉2-3-17 | TEL (0729) 62-1131 |
| 兵庫支社 | 〒650 | 神戸市中央区東川崎町1-8-2 | TEL (078) 360-3100 |
| 京都支社 | 〒600 | 京都市下京区中堂寺粟田町1 | TEL (075) 311-7381 |
| 奈良支社 | 〒631 | 奈良市学園北2-4-1 | TEL (0742) 44-1111 |
| 和歌山支社 | 〒640 | 和歌山市本町1-5 | TEL (0734) 31-2481 |
| 兵庫西支社 | 〒670 | 姫路市神屋町4-8 | TEL (0792) 85-2221 |
| 豊岡支社 | 〒668 | 豊岡市三坂町6-57 | TEL (0796) 23-2221 |
| 滋賀支社 | 〒525 | 草津市西大路町5-34 | TEL (0775) 62-5311 |
| 滋賀東支社 | 〒522 | 彦根市大東町12-11 | TEL (0749) 22-3131 |
| 長浜営業センター | 〒526 | 長浜市南呉服町3-4 | TEL (0749) 62-7171 |
| 本社・ガスビルサービスセンター | 〒541 | 大阪市中央区平野町4-1-2 | TEL (06) 202-2221 |

大阪ガス株式会社

## おねがい

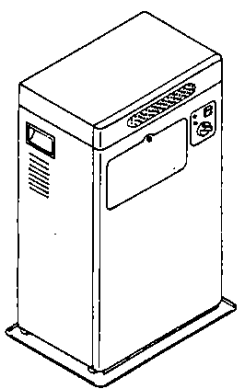
ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

屋内設置形

# 暖房専用熱源機

## 42－030型

型式名　TP－DN240



# 取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

# ごあいさつ

**このたびは、大阪ガスの暖房専用熱源機をお求めいただき、ありがとうございました。**

**別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。**

# もくじ


●ごあいさつ・もくじ ―― 1
●特長・機能の紹介 ―― 2
●必ずお守りください ―― 3

●各部の名まえと扱いかた ―― 7
●初めてお使いいただくときに ―― 9
●床暖房運転のしかた ―― 10
●使用方法 ―― 11

●点検・お手入れ ―― 13
●故障かな？と思ったら ―― 15
●寸法図 ―― 18
●仕様 ―― 19
●保管とアフターサービス ―― 20
●メモ ―― 21

# 特長・機能の紹介

**■暖房能力は２，４００ｋｃａｌ／ｈで床暖房１～２系統用の暖房専用熱源機です。**

**■かんたん設置**

熱源機と床暖房パネルを屋内に設置し、温水ゴム管をつなぐだけ。大がかりな工事が不要です。

**■転倒時安全装置付**

機器が倒れたり、強い衝撃が加わったときなどに作動して、事故を防ぐ安全装置付です。

（☞１６・１７ページ）

**■不完全燃焼防止装置付**

お部屋の酸素不足などによる、不完全燃焼を防ぐ安全装置付です。（自動的に消火します。）

（☞１６・１７ページ）

※この機器は、業務用のスポット的な暖房に適した熱源機です。そのため、一般家庭用としてのご使用は、お勧めできません。

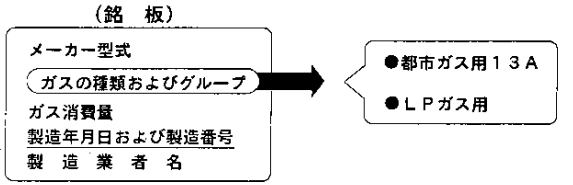


# 必ずお守りください

**安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。**

## 使用ガスについてのご注意

●機器側面の銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。



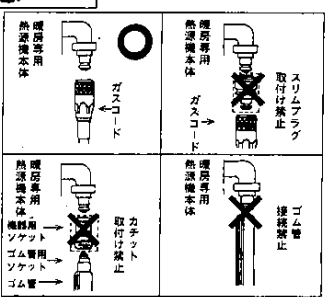

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスがあり、都市ガスにはガスグループの区別があります。
●転居されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

## 使用電源についてのご注意

●銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。
この機器はＡＣ１００Ｖ、５０／６０Ｈｚ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

## 機器設置についてのご注意

●機器の設置・工事をご依頼されるときはお買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社に依頼し、工事説明書にしたがって安全な位置に正しく設置してご使用ください。
●ガスの接続について
・必ず大阪ガス指定のガスコードを使用してください。
・機器にはスリムプラグが組み込まれています。
一般のガス用ゴム管やビニール管は使用できません。



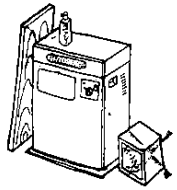

**!ご注意**
ガスコードは
・継ぎたしなどはしないでください。
・機器の高温部に触れたり、機器の下を通したりしないでください。
・他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
・機器への取り付けにおいて不明な場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

## 用途についてのご注意

●床暖房以外の用途には使用しないでください。
（指定のソフトパネル、金属パネル、スノコパネルのいずれかをご使用ください。）

## 使用上のご注意

### ■火災予防

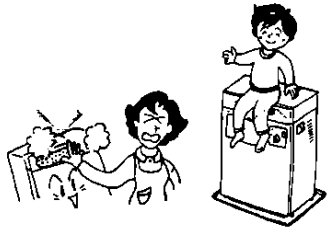


●機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、近くで、揮発性の薬品等を使用しないでください。特に排気口は洗濯物などでおおわないでください。不完全燃焼の原因になります。
●火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。必ず、運転スイッチを「切」にし、ガス栓を閉めてください。

### ■ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス栓を閉め、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。
〔注〕火をつけたり、電気製品のスイッチの「入」・「切」や、電源プラグの抜き差しをしないでください。

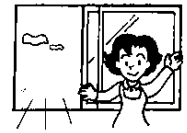
### ■やけど等のご注意



●使用中および使用後は、排気口やその周囲が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●機器の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。
●幼児、お年寄り、皮膚の弱い方などが、ご使用になるときは、設定温度によりパネルが熱すぎたり、低温やけどをおこすことがありますので周囲の方が十分注意してください。
●温水ゴム管の表面は熱くなっていますので、暖房中はさわらないでください。



### ■換気にご注意



●閉めきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。
使用中は３０分に１回、１分程度窓を開けるなど十分な換気を行ってください。

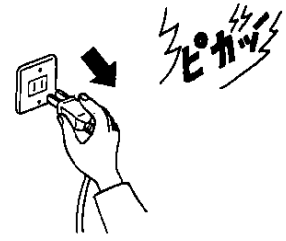
### ■凍結についてのご注意

●冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので、凍結の恐れのあるときは１１ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

### ■凍結したとき

●機器や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。（有料）
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●再使用の場合は、凍結がとけた後、機器および床暖房パネルから水漏れがないことを確認後、９ページ「初めてお使いいただくときに」の項以下の操作を行ってください。

### ■雷が鳴ったとき、鳴った後

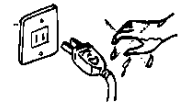



●雷が鳴っているときは、激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。
●雷が鳴った後、床暖房ができない場合（各ランプが点灯しない）は、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。電源プラグを一度コンセントから抜き、再度、差し込んでください。それでも使用不能なときは、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

### ■使用場所について

●スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。
（理・美容院などで使用すると、機器の故障の原因となることがあります。）
●この機器は室内燃焼機器のため、気密の高いお部屋などでは、壁や天井が結露する場合がありますので、換気などご使用には十分ご注意ください。
●強い風の吹き込む所では使用しないでください。炎が消えることがあります。

### ■感電事故防止



●電源プラグは、絶対に濡れた手で触らないでください。

## ■異常時の処置

●万一、ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて運転スイッチを切り、ガス栓を閉めてください。
（１５ページの「故障かな？と思ったら」にしたがって処置を行ってください。）

## ■停電時や電源プラグを抜いたとき

●この機器は、停電時やコンセントから電源プラグを抜いたときは使用できません。

## ■日常の点検・お手入れ

●日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくは１３・１４ページをご覧ください。）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずにお買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

## ■市販の補助用具について

●付属品・指定品の別売部品以外の補助具は使用しないでください。

## ■機器の移動について

●機器を移動するときは、床暖房運転を停止し、機器が冷えていることを確認してから移動してください。
●機器を移動するときには、必ず、持ち上げて移動してください。
機器を引きずって移動すると、床（畳・じゅうたん等）にキズがつくことがあります。

## ■パネルについて

●ソフトパネルに突起物や刃物を落としたり、刺したりしないでください。水漏れの原因となります。
●ソフトパネルにアイロンやコンロなど高温のものや火の気を近づけないでください。
●ソフトパネルや金属パネルの上には、床暖房に適したカーペット等を敷いてご使用ください。
●床暖房はパイプ内に温水を循環させて床（パネル）を暖めており、温水の流れているところとそうでないところでは床面の温度に若干の差が発生しますが異常ではありません。

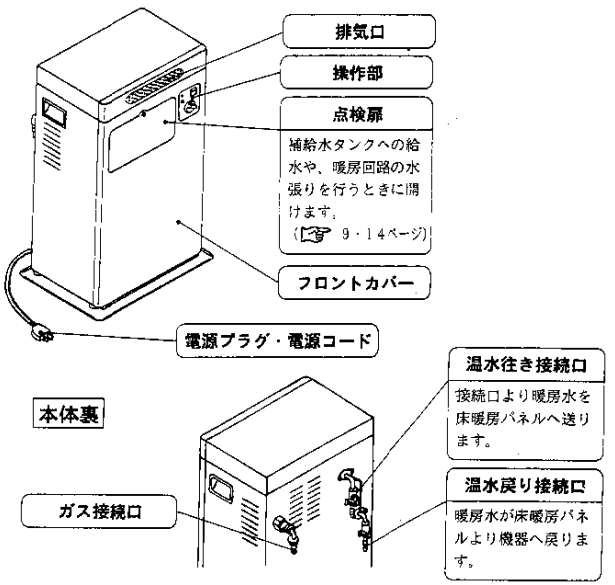
## ■長期間使用しない場合

次の手順で行ってください。
①ガス栓を閉めます。
②電源プラグをコンセントから抜きます。
③機器およびガスコンセントからガスコードを外します。
④１２ページの「機器の水を抜く方法」により、水抜きを行ってください。

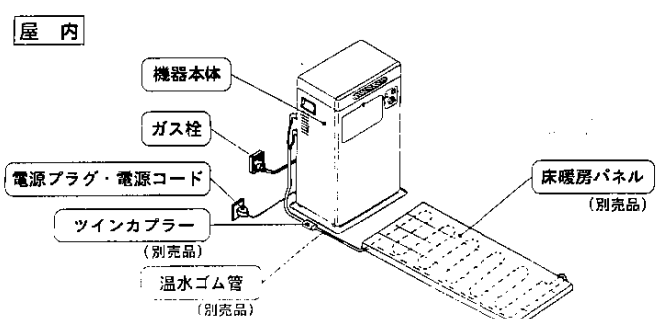


# 各部の名まえと扱いかた

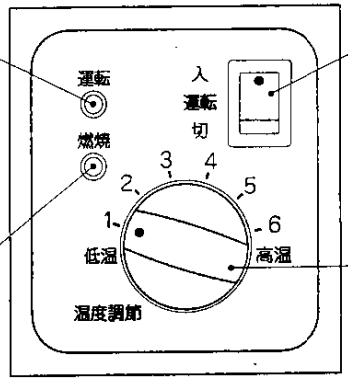
## ■機器本体




## ■床暖房システム例



## ■操作部



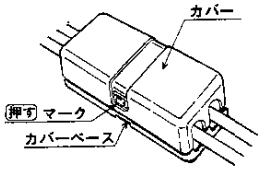

**運転ランプ（ミドリ）**
運転スイッチを「入」にすると点灯します。
（☞10ページ）

**運転スイッチ**
床暖房運転するときや、停止するときは押します。
（☞10ページ）

**燃焼ランプ（アカ）**
機器が燃焼時に点灯します。
（☞10ページ）

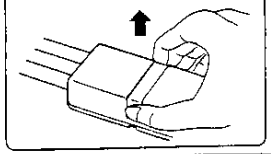
**温度調節ダイヤル**
温度調節するときにまわします。6段階に調節できます。
（☞10ページ）

## ■ツインカプラーについて〔別売必要品〕

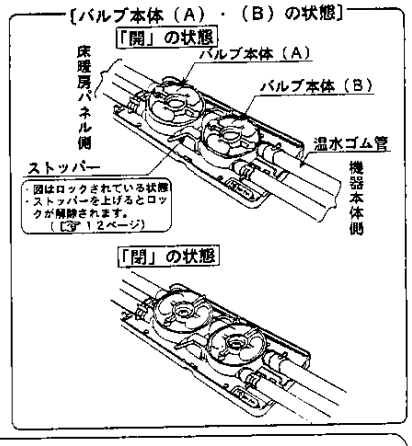



〔カバーの外しかた〕

カバーの 押す マークを指でつまんで外します。



〔バルブ本体（A）・（B）の状態〕




**ご注意**
- 暖房運転中は、ツインカプラーのカバーを必ず取り付けてください。
- 暖房運転中は、ストッパーをロック状態にしてください。



# 初めてお使いいただくときに

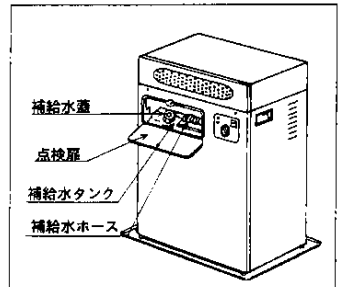
## ■お使いになる前に確認してください

**1** ツインカプラーのバルブ本体（A）・（B）が開いているか確認します。（☞8ページ）

**2** 暖房水の量を確認します。

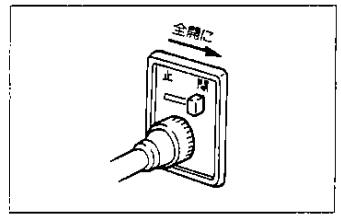
- 点検扉を開け、補給水タンクに暖房水が目印の線まであることを確認します。

**ご注意**
- 補給水タンク内の暖房水が一定量以下になると床暖房運転が停止します。このとき、操作部の運転ランプが点滅表示します。
（アラーム表示☞16ページ）
補給水タンクに水道水を必ず補給してください。地下水等を使用すると、機器損傷の原因となります。
（給水のしかた☞14ページ）

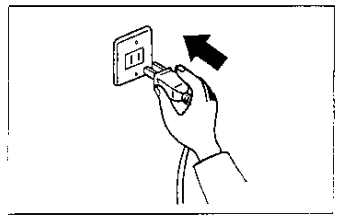



- 暖房水の量が目印の線より低く、不足していると思われるときは、「点検と手入れ」の“補給水タンクの給水のしかた”（☞14ページ）を見て補給してください。

**3** ガス栓が全開になっているか確認します。




**4** 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認します。



使用方法

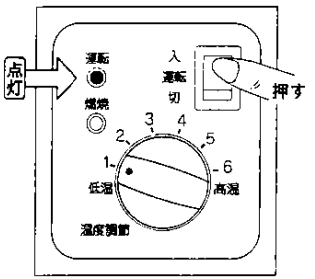
# 使用方法・床暖房運転のしかた

## 運転を行うには

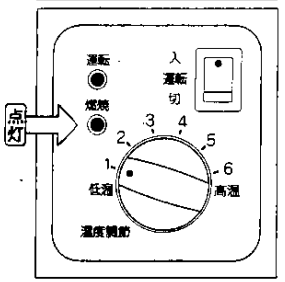
### 運転スイッチを「入」にする

●運転スイッチを「入」にすると運転ランプが点灯します。

※初めてお使いになるときは、燃焼ランプが点滅する場合があります。点滅したときは、運転スイッチを「切」にし、もう一度「入」にします。
それでも点滅するときは、繰り返し運転スイッチの「切」・「入」操作を行ってください。




●しばらくすると燃焼ランプが点灯し、床暖房運転が始まります。
・設定温度になると、自動的に燃焼ランプが消えます。
・湯の温度を設定温度に保つため燃焼ランプがついたり消えたりしますが故障ではありません。



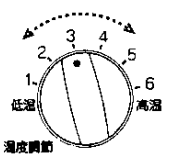

## 温度を調節するには

### 温度調節ダイヤルをまわす

●床暖房パネルの温度に合わせて、お好みの温度に調節してください。
●温度調節は6段階です。

| 温度設定数値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1(約50℃) | 2(約55℃) | 3(約60℃) | 4(約65℃) | 5(約70℃) | 6(約80℃) |

低温 ←




※（ ）は循環している湯のおおよその温度を示します。
※湯の温度と床暖房パネルの温度は異なりますのでお好みの位置にダイヤルを合わせてご使用ください。

## 運転を停止するには

### 運転スイッチを「切」にする

●運転スイッチを「切」にすると運転ランプが消灯し、床暖房運転が停止します。

# 使用方法・凍結予防方法

●機器が凍結すると、使用できなくなるばかりでなく、水漏れ、故障の原因となります。
●凍結予防を行ってください。

## ■凍結予防装置による方法

●この機器には、気温が下がってくると自動的に補給水タンク内の水（湯）を循環して機器内や床暖房配管の凍結を予防する自動凍結予防装置がついています。
通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば装置がはたらきます。

**!ご注意**
●電源プラグをコンセントから抜きますと、自動凍結予防装置は、はたらきません。必ず電源プラグをコンセントに差し込んでください。

## 凍結したときは

●凍結した場合は、使用しないでください。
●凍結したまま使用しますと、熱源機や配管が破損することがあります。
●熱源機や配管が破損すると、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）
●凍結が解けたあと、水漏れがないか確かめてから使用してください。

# 使用方法・機器の水を抜く方法

●長期不在または、ご使用にならないとき等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き方法によって機器の水を抜いてください。

## ■機器内の水抜きをするとき

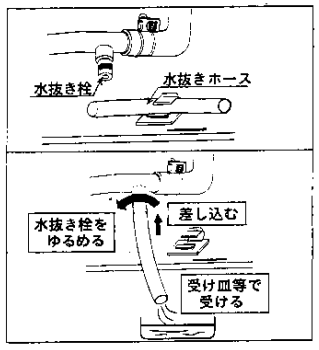
※機器および暖房水が十分に冷えてから行ってください。

①フロントカバーを外す（中に水抜きホースがあります。）

②水抜きホースを水抜き栓に差し込み、水抜き栓をゆるめます。（水が4ℓほど出ますので大きな受け皿等で水を受けてください。）

③水抜きホースから水が出なくなるまで水抜きを行います。
水抜きが終わったら、水抜き栓を締め、水抜きホースを外し元の位置へ置きます。

④フロントカバーを取り付けます。



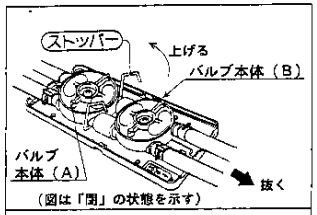

## ■床暖房パネルの水抜きおよび収納

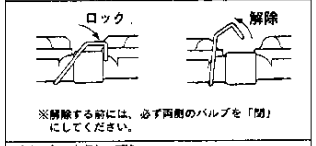
①床暖房運転を停止し、暖房水が十分に冷えてからツインカプラーの「カバー」を外します。
「バルブ本体（A）・（B）」のバルブを左右どちらかに回して「閉」状態にします。（☞8ページ）

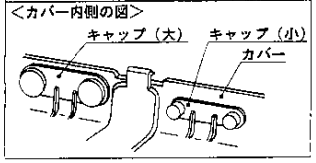
②ストッパーを上げてロックを解除し、「バルブ本体（B）」を抜きます。
※このとき、各バルブ本体の入口部の残水が少し出ますので布等でふきとってください。

③「カバー」内側にある「キャップ（大）・（小）」を外し、各バルブ本体の入口部に差し込みます。
※機器と床暖房パネルを配管した後は、「キャップ（大）・（小）」をカバーの内側に差し込んでください。

④ツインカプラーに「カバー」を取り付け、そのままパネルと一緒に収納してください。
※床暖房パネルより、水抜きする場合は「バルブ本体（A）」のバルブを開けてください。




**❗ご注意**
床暖房運転中は、ストッパーを解除し、「バルブ本体（B）」を抜かないでください。抜くと高温の湯が出てやけどの恐れがあります。

## ■水抜き後、再使用するとき

●工事説明書にしたがって機器と床暖房パネルを配管後、機器本体の補給水タンクへ水道水を補給してください。（☞14ページ）



# 点検・お手入れ

## ■点検・お手入れの際のご注意

●安全にお使いいただけるように点検、お手入れは定期的に！！

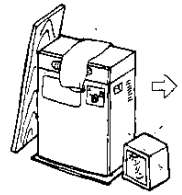
●点検、お手入れの前に必ずガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。

❗水抜き作業以外のときは、フロントカバーを外したり、機器を絶対に分解したりしないでください。

## ■点検のポイント

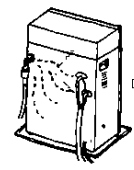
### ●機器本体

①機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？



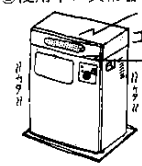
●危険ですので、機器の上や、周囲には、燃えやすい物を置かないでください。特に排気口は洗濯物などでおおいますと、不完全燃焼や異常過熱の原因となります。

②機器やガスコードよりガスの臭気はありませんか？



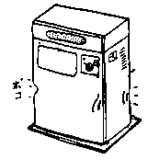
●ガス接続部に中性洗剤などを付けて、シャボン玉や泡状になりませんか。なればガス漏れですので、修理依頼してください。

③使用中に異常音がありませんか？

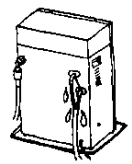


●気になる場合は点検依頼してください。

④外観に異常は見られませんか？



⑤機器や配管より水漏れはありませんか？



●水漏れがありましたら、修理依頼してください。

⑥電源コード、プラグがいたんでいませんか？感電や火災の原因となります。

### ●ガスコード

①ガスコードは、機器およびガス栓ともに接続が十分か、ときどき点検してください。

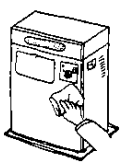
②ガスコードが折れたり、ひび割れたりしていませんか？ひび割れたりして古くなったガスコードは必ず取り換えてください。

### ●温水ゴム管

①温水ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか？ひび割れたりして古くなった温水ゴム管は必ず取り換えてください。

## ■お手入れのしかた

### ●機器本体



機器本体のお手入れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふきとります。

**ご注意**
●洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは、ふかないでください。

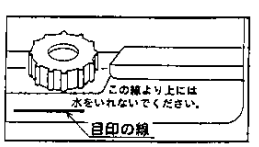
### 補給水タンクの給水のしかた

●機器を使用すると暖房水はごくわずかですが蒸発します。
暖房水が減ると補給水タンクの水位を機器が検知します。一定量以下になると床暖房運転が停止し、エラー表示が出ます。下記の手順で給水してください。

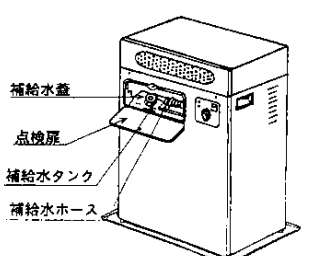
**ご注意**
●暖房水を補給するときは、やけど防止のために床暖房運転を停止し、機器および暖房水が冷えてから行ってください。

■給水の手順

1．本体操作部のスイッチを「切」にします。
（床暖房運転の停止）
2．機器が熱くないことを確認します。
3．機器の点検扉を開けます。
4．補給水タンクの補給水蓋を外します。
5．ヤカンなどで、タンクの目印の線まで水道水を入れます。
（補給水ホースを補給水口に差し込んで補給してください。）




**ご注意**
●水道水は、タンクの目印の線以上には入れないでください。入れすぎて水があふれると機器の故障の原因となる場合があります。




6．補給水蓋を閉め、点検扉を閉めます。



# 故障かな？と思ったら

## ■こんな場合は、故障ではありません。

困ったとき、気になるときがあっても故障とは限りません。
もう一度調べましょう！

| こんな場合 | 原因と対策 |
|---|---|
| 寒い日、排気口から白い煙がでる。 | 冬には、はく息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。 |
| 冬期など寒いとき、ポンプが自動的に動く。 | 凍結による破損予防のためポンプの自動運転を行います。 |
| 機器が停止しているにもかかわらずポンプが約５秒間自動的に動く。 | ポンプの固着防止のためポンプの自動運転を行います。 |

## ■次のことを調べましょう。

| 現　象 | 点検項目 |
|---|---|
| 運転ランプが１回ずつ点滅し、動作しない。（☞１６ページ） | 補給水タンクに暖房水が十分入っていますか？十分でなければ「補給水タンクの給水のしかた」（☞１４ページ）にしたがって補給してください。 |
| 床暖房がきかない。 | ガス栓が全開になっていますか？（☞９ページ） |

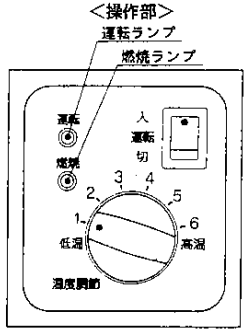
●このほかに異常があるときや、わからないときは、「アラーム表示について」（☞１６ページ）の項目を参照してください。

# 故障かな？と思ったら

## ■アラーム表示について

●この機器の操作部には自己診断機能がついています。
機器が故障するとその故障原因に応じて操作部の運転ランプまたは、燃焼ランプが点滅し、自動的に運転を停止します。

●運転ランプ、燃焼ランプが点滅したときは、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。そのときは、何のランプが何回ずつ点滅しているかお知らせください。




| アラーム内容 | 運転ランプ | 燃焼ランプ | ランプの点滅周期 | 処置・方法 |
|---|---|---|---|---|
| タンク水位不足 | 点滅 | 消灯 | 点滅が1回ずつ | 運転スイッチを「切」にして、補給水タンクへ暖房水を補給してください。 |
| 空だきスイッチ作動 | 消灯 | 点滅 | | 修理を依頼する。 |
| 転倒スイッチOFF | 点滅 | 点滅 | | 機器を正しい位置に戻し、リセット操作※ |
| 点火不良 | 点滅 | 消灯 | 点滅が2回ずつ | ガス栓確認後リセット操作※ |
| 失火 | 消灯 | 点滅 | | 修理を依頼する。 |
| 不完全燃焼防止装置作動 | 点滅 | 点滅 | | 部屋の換気を十分に行って、リセット操作※ |
| 凍結予防サーミスタ断線または短絡 | 点滅 | 消灯 | 点滅が3回ずつ | 修理を依頼する。 |
| 暖房サーミスタ断線または短絡 | 消灯 | 点滅 | | |
| 電磁弁回路の故障 | 点滅 | 消灯 | 点滅が4回ずつ | |
| 疑似炎検出 | 消灯 | 点滅 | | |

※リセット操作：運転スイッチを一度「切」にします。再度、床暖房運転をするときは、もう一度、運転スイッチを「入」にします。

## ■安全装置と種類とその働き

●この機器には次のような安全装置が組み込まれています。

● **立消え安全装置**（サーモカップル方式）… バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。

● **不完全燃焼防止装置**（サーモカップル方式）… 不完全燃焼をする前にガスを止め運転を停止します。

● **空だき安全装置**（バイメタル方式）… 熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。

● **空だき防止装置**（水位電極方式）… タンク内に水がないとき、ガス通路を開けず空だきにならないようにします。

● **過熱防止装置**（温度ヒューズ）… 機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき作動し、燃焼を自動的に停止します。

● **漏電安全装置**（漏電リレー）… 万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。

● **凍結予防装置**（ポンプ運転）… 機器内の雰囲気温が低下すると作動、機器内の凍結を防止します。

● **転倒時安全装置**（転倒スイッチ）… 機器が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、ガスを止め運転を停止します。

# 仕様

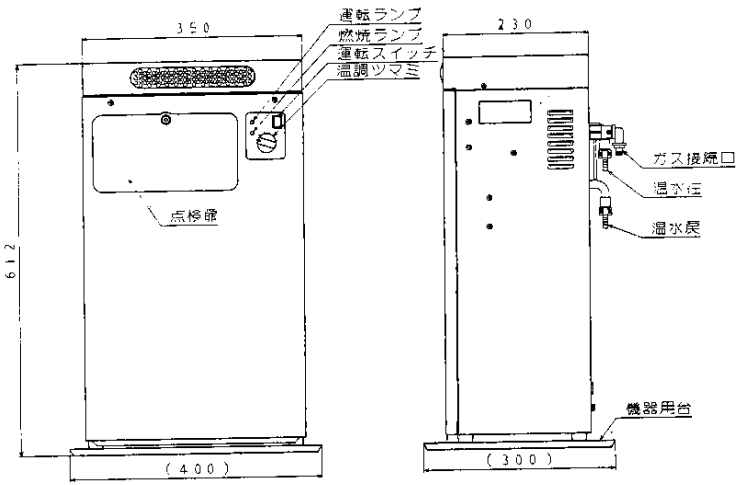
| | | | |
|---|---|---|---|
| 品名 | | 42−030型 | |
| 型式名 | | TP−DN240 | |
| ガス種 | | 都市ガス（13A） | LPG |
| 外形寸法（mm） | | 幅350（400）×奥行230（300）×高さ612 | |
| 重量（kg） | | 15 | |
| 標準ガス消費量 | kcal/h（kW） | 3，000（3．49） | 0．25kg/h（3．49） |
| 標準能力 | kcal/h（kW） | 2，400（2．79） | 0．20kg/h（2．79） |
| 温度制御 | | 機器本体操作によるON−OFF制御（6段階） | |
| 点火方式 | | AC100V連続スパーク点火方式（ダイレクト着火） | |
| 燃焼方式 | | ブンゼン燃焼式 | |
| 給排気方式 | | 開放式（自然燃焼方式） | |
| ポンプ機外揚程 | | 5mH₂O（1．5ℓ/minの時） | |
| 材質 | 本体外装/塗装 | 溶融亜鉛メッキ鋼板/溶剤塗装 | |
| | 排気口/塗装 | 溶融亜鉛メッキ鋼板/溶剤耐熱塗装 | |
| | 熱交換器/バーナー | 脱酸銅/ステンレス鋼板 | |
| 接続 | ガス | ガスコード | |
| | 温水往き・戻り | 温水ゴム管用差し込みジョイント | |
| 電気関係 | 電源 | AC100V（50Hz/60Hz） | |
| | 操作部 | 16V以下 | |
| | 消費電力 無負荷時 | 10W以下 | |
| | 消費電力 暖房燃焼時 | 50W | |
| | 消費電力 凍結予防作動時（ポンプ運転） | 40W | |
| | 電源コード | VCTFK（2芯）1．5m | |
| 安全装置 | | 立消え安全装置（サーモカップル方式）<br>不完全燃焼防止装置（サーモカップル方式）<br>空だき安全装置（バイメタル式）<br>空だき防止装置（水位電極方式）<br>過熱防止装置（温度ヒューズ）<br>漏電安全装置（漏電リレー）<br>凍結予防装置（ポンプ運転）<br>転倒時安全装置（転倒スイッチ） | |

◎ガス：ＪＩＳに規定する標準ガス・標準圧力のとき
◎標準ガス消費量・能力はガスの種類により異なる場合があります。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。



# 寸法図

## ■機器本体

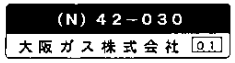


# 保管とアフターサービス

## アフターサービスについて

### ■サービスを依頼されるときは

1．まず「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。
2．アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
①ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
②品名……４２－０３０型
（右のようなラベルを機器の右側面部に貼付けてあります。）




③現象……できるだけ詳しく（運転ランプ・燃焼ランプの点滅表示等）
④訪問ご希望日

### ■転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区別が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店または、最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証書期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

### ■保証について

●この暖房専用熱源機には保証書がついています。
●保証書に記載のように、暖房専用熱源機の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

### ■補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後７年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。



# メモ